

# Forward to 1985 energy life

2011大集会  
9月17日(土)

開会13:30 閉会17:00(予定)

会場：名古屋市中区役所ホール  
愛知県名古屋市中区栄四丁目1番8号

参加費：500円

## プログラム

- 13:30** 開会宣言  
**13:35~13:45** 各界からの賛同・応援メッセージの紹介  
**13:45~15:15** 1985運動の意義、目標と具体策、普及のための動きの解説  
講師：1985大集会実行委員長 野池政宏  
※詳細は裏面をご参照ください。
- 15:30~16:45** パネルディスカッション  
テーマ：究極の省エネルギー社会と1985運動  
パネリスト：上岡裕氏(NPO法人エコロジーオンライン理事長)  
三浦祐成氏(新建新聞社)  
省エネルギー住宅に取り組む工務店  
設計事務所(交渉中)  
省エネルギーをテーマとする研究者(交渉中)  
野池政宏(コーディネーター)
- 16:45~17:00** 大会宣言採択、散会

主催：1985大集会実行委員会  
(実行委員長 住まいと環境社 野池政宏)

後援：自立循環型住宅研究会、NPO法人 WOOD  
AC、その他、自治体、業界団体等 調整中

協賛：OMソーラー株式会社、ファイアーライフ、  
協同組合もくよう連、相羽建設株式会社、  
株式会社エヌ・シー・エヌ、オーガニックス  
スタジオ株式会社、岡庭建設株式会社、有  
限会社オストコーポレーション北関東、株  
式会社オプコード研究所、カサボン住環  
境設計、環境創機株式会社、木村木材  
工業株式会社、株式会社キリガヤスタイル、  
株式会社小林建設、株式会社参創ハウ  
テック、新建新聞社、株式会社住宅工房、  
株式会社創建舎、滝口建築スタジオ、株  
式会社千葉工務店、半田雅俊設計事務  
所、株式会社ハイホームス、株式会社ハ  
ヤシ工務店、長谷川建築デザインオフィ  
ス株式会社、株式会社ブルックスタジオ、  
株式会社松岡建築設計事務所、ヤマモ  
トエミ住空間デザイン室、意匠設計FORM、  
株式会社エヌテック、株式会社木村工務  
店、株式会社建築工房じねんもく、胡桃  
設計、株式会社ザインソウハウス、米谷良  
章設計工房、有建築設計舎(7月20日現在  
敬称略 順不同)

問い合わせ先 1985大集会実行委員会事務局 TEL.0572-20-2770(代) FAX.0572-20-2771  
<http://www.to1985.net>

# Forward to 1985 energy life

## 開催の目的

「FORWARD TO 1985 ENERGY LIFE (以下、1985運動と呼ぶ)」は1985年から現在にかけて約2倍になった家庭部門エネルギー消費量と電力消費量の削減を1985年レベルまで進めようという運動です。それが実現できれば、現在の産業部門電力消費量はそのまま、原発を半分に削減できる可能性が出てきます。こうして究極の省エネルギー社会をつくるのが地球温暖化防止にも繋がり、全ての問題を解決する道筋をつくることになります。

この大会では1985運動の意義や具体的方法の紹介、パネルディスカッションを行い、家庭でのエネルギー消費の見直しと省エネ活動の実施を呼びかけます。また、住宅供給者には今まで以上の省エネ住宅供給を呼びかけます。政治主導ではなく「家庭」から究極の省エネルギー社会の実現を目指す1985運動の推進を目的として大会を開催いたします。

## 1985運動の意義

### 1985運動の意義、目標と具体策、普及のための動きの解説

講師：1985大集会実行委員長 野池政宏

1. わが国が抱える「脱原発と再生可能エネルギー利用の構築」「エネルギーの安全保障」「地球温暖化対策」という3つの課題解決に向かいながら、一方ではリーマンショックや東北大地震による景気の停滞を防ぐために、産業部門のエネルギー消費量は現状維持しつつ、家庭部門での省エネルギーに向かうというこの運動の基本的な意義について解説します。
2. 家庭部門におけるエネルギー消費量と電力消費量を10年強で半分にすることがこの運動の目標です。またそのためにエネルギー消費量と電力消費量を「現状の平均値と比べたときの半分」となる家庭を10年弱で1000万世帯に到達させることを具体的な目標としています。そのために必要となる住まいと暮らしのあり方、工夫について提案します。
3. この運動は政治的な議論や手続きを踏まずに、誰もが実践し、取り組める運動です。具体的な方法を示しつつそのムードをつくり、国民運動として盛り上がらなければ目標達成は望めません。そのために、とくに1～2年程度の短期的な方策を提案し、次のパネルディスカッションにつなげます。

## 参加申込方法

A. 公式ホームページ (<http://www.to1985.net>) より、申込フォームに必要事項を入力し、エントリーを行って下さい。

B. 下記必要事項に記入の上、実行委員会事務局事務局 (FAX.0572-20-2771) までご返送下さい。

★印は必須記入項目

※受付確認の連絡は致しませんのでご了承ください。

なお、当日はFAXを頂いた申込用紙と、参加費500円をお釣りの無いようにお持ち下さい。

氏名(フリガナ)★

メールアドレス★

住所

会社名

当イベントをどこで知りましたか

・新聞( ) ・雑誌( ) ・ホームページ( ) ・知人からの紹介( )

・職場からの紹介( ) ・所属団体( ) ・その他( )